英語科学習指導案

指導担当教員：

授業者：

1. 日時：　令和7年6月11日（水）　第1限
2. 場所：
3. 学級：　8組（少人数クラス、26人）
4. 単元：　Crown English Communication II（三省堂）
   Lesson2 "One Book Can Empower a Child"
5. 単元（題材）の目標：
   - 文章を聞き取る、また読み取るために必要となる語彙や表現、文法事項の意味や働きを理解する
   - メインアイデアと詳細情報を分けて概要を把握し、内容を要約して伝える
   - グループワーク等の活動に積極的に参加し、他の生徒と考えを共有する
6. 単元（題材）の評価規準：

ア　知識・技能	イ　思考力・判断力・表現力	ウ　学びに向かう力・人間性
①　【読むこと】 ［知識］ 新出単語、および動名詞の意味上の主語や不定詞の完了形等の文法の意味や働きを理解している。（定期考査で評価する） ［技能］ ①　【書くこと】 他の生徒に伝えるために、SVA ボランティアの活動内容やボランティア参加者の思いを参考に、人を支援することの意義や責任について適切な語彙や表現を用いて記述している。	①　【読むこと】 他の生徒に伝えるために、実際の発展途上国の子どもたちの様子や SVA の活動内容についての文章を読み、子どもたちやボランティア参加者の思いを理解している。 ②　【書くこと】 他の生徒に伝えるために、SVA ボランティアの活動内容やボランティア参加者の思いを参考に、人を支援することの意義や責任について適切な語彙や表現を用いて記述している。（パフォーマンステストで評価する）	①　【書くこと】 他の生徒に伝えるために、SVA ボランティアの活動内容やボランティア参加者の思いを参考に、人を支援することの意義や責任について適切な語彙や表現を用いて記述しようとしている。（パフォーマンステストで評価する）

7. 指導にあたって

①　教材観

本単元は、発展途上国で教育が受けられない子どもたちの状況と、そのような子どもたちを支援する人々の思いについて取り上げている。生徒は教育を受けられない子どもたちの現状について理解し、ボランティアによってどのように彼らの生活や心境が変化したかを読み取る。また、ボランティアとして支援する人々の思いについて読み取り、支援する意義について考える。

② 生徒観

2年6組と8組合同クラスである。ペアワークやグループワーク等の活動では、積極的に発言する様子が見られる。間違いを恐れず笑顔で自分の考えを話しているものの、大勢の前で話したりすることには抵抗を感じている生徒が一定数存在する。

③ 指導観

本文の内容に関連したトピックについて、自らの考えを英語でまとめる表現力を育ませたい。教育を受けられない子どもたちについての理解を深めるため、画像や映像等の視聴覚資料を活用し、生徒の想像力を引き出す活動を心掛ける。また、子どもたちの視点だけではなく、ボランティアとして他者を支援する意義について考える機会としたい。

8. 単元（題材）の指導計画と評価計画（全12時間扱い）

時	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）
第1時	■世界の子どもたちの現状について理解する。 ■教育が受けられない子どもたちに関する背景知識を習得する。 ①ポスターの内容を理解し、その目的と「学ぶ」ことが当たり前ではない現状に気づく。 ②SVA（Shanti Volunteer Association）の紹介動画から SVA の活動目的と理念を知る。
第2時	■カンボジアの教育を受けられない子どもたちに関する本文を読み、概要を把握する。 ■学校に行けない子どもたちの現状について理解する。 ①カンボジアの二人の子どもの現状について概要を聞きとる。 ②カンボジアの二人の子どもの現状について概要を読み取る。 ③カンボジアの二人の子どもの現状を自分の言葉で要約する。 ④学校に行けない状況を想像し、どのようなことで困難を感じるかについて考えを共有する。
第3時	■アフガニスタンの教育を受けられない子どもに関する本文を読み、概要を把握する。 ■自分の人生を楽しむきっかけを伝え合う。 ①ALT と OET の会話から、SVA の活動がカンボジアにとどまらず発展途上国の各国で行われていることを理解する。 ②アフガニスタンの少年が本に出会う概要を読み取る。 ③アフガニスタンの少年と本の出会について自分の言葉で要約する。 ④人生が楽しくなった経験について、ペアやクラス全体で共有する。
第4時	■SVA の支援によって人生が好転したタイの子どもに関する本文を読み、概要を把握する。 ■本との出会いがどのように子どもたちの人生に影響するのかについて理解する。 ① タイのスラムに住む子どもが SVA の図書館で本と出合うことでどのように人生が変わったかを知る。 ② 概要を読み取り、自分の言葉でまとめて伝える。

第5時	■SVA の活動と支援者の思いが述べられた本文を読み、概要を把握する ■SVA の支援の在り方や支援者の思いを知る ① SVA の支援体制やボランティア参加者の思いについて知る。 ② 本文の概要を読み取り、自分の言葉でまとめて伝える。
第6時	■カンボジアの教育を受けられない子どもたちの例に関する本文を読み、詳細を把握する。 ■カンボジアの子どもたちが学校に行けない理由を、実際の映像とともに詳細を把握する。 ① カンボジアの二人の子どもが学校に行けない理由を理解する。 ② 実際の学校の様子を見て、彼らの生活を詳細に把握する
第7時本時	■学校に行けない子どもたちの要因に関する記事を読み、詳細を把握する。 ■学校に行けない子どもたちの状況や気持ちを自分事として考える。 ① 子どもたちが学校に行けない要因を理解する。 ② ①の要因を通じて、失うことや考えたことを想像して共有する。
第8時	■アフガニスタンの教育を受けられない子どもに関する本文を読み、詳細を把握する。 ■絵本や本の役割、助けることの意義について理解する。 ① アフガニスタンの少年の事例の詳細を読み取る。 ② なぜ図書館が彼に人生の希望を与えたかを考える。 ③ 助ける責任（希望を届ける責任）があるのか意見を伝え合う。
第9時	■SVA の支援によって人生が好転したタイの子どもに関する本文を読み、詳細を把握する。 ■なぜ SVA が読書支援をするのかを考える。 ① SVA の支援によって、人生が好転した少女の詳細を読み取る。 ② 発展途上国における子どもたちが文字を読む（本を読む）支援の重要性を考え、他の生徒考えを共有する。 ③ SVA が行う活動の意義について考え、意見を伝え合う。
第10時	■SVA の活動と支援者の思いが述べられた本文を読み、詳細を把握する ■SVA の活動から「支援」の意義を考える。 ① SVA による読書活動推進の意義について読み取る。 ② SVA をはじめとした団体が、他者を助ける意義について意見を共有する。
第11時	■SVA の図書館の経験や思いについての記事を読み、詳細を把握する。 ■図書館（子どもたちが本と出合える場所）の存在意義を考える。 ① SVA スタッフの図書館建設への思いを読み取る。 ② SVA が子どもたちを支援し続ける理由とその思いを読み取る。 ③ 子どもたちのために図書館を建設する意義について考え、クラス全体で共有する。
第12時	■Lesson 全体を振り返り、ボランティアの意義について考える ① SVA の活動や発展途上国の子どもたちの状況を振り返る。 ② ボランティアを行う意義について、意見を交換する。

9. 本時（全12時間中の第7時）

① 本時の目標

・学校に行けない子どもたちの要因に関する記事を読み、現状について理解する

・学校に行けない状況を想像し、自分の考えを英語で表現する

② 本時の展開

	教授活動	指導上の留意点	評価規準
導入5分	1. 挨拶をする。 2. 学校に行けない子どもたちの現状を再確認する。	学校に行きたいが行けない子どもたちが25億人（子どもの人口の5分の1）いることを理解する	本授業では記録に残す評価は行わない。
	Understand the reasons why children in developing countries cannot go to school.		
展開35分	1. 学校に行けないPheaさんとHakさんの事例を復習する。	Section1（学校に行けないPheaさんとHakさんの生活について取り上げた文章）のプリントを見ずにペアで内容を確認する。その後、クラス全体で彼らの状況を整理する。 学校に行けない理由を考え、Povertyの内容に関連付ける。	
	2. PheaとHakが学校に行けない共通点を探す。	読むべきポイントをあらかじめ提示する。	
	3. 学校に行けない理由についての記事を読み、学校へ行けない要因としての貧困や児童労働への理解を深める。		
	4. ランドセル寄付のお礼状の文言（アフガニスタンの少女）から文房具やランドセルが発展途上国の子どもたちにとってどのようなものかを想像する。	「思い出のランドセルギフト」をした経緯を説明し、届いたお礼状を読む。世界にいる教育を受けられない子どもたちの現状とその理由について理解する。	
	5. アフガニスタンの教育の現状について戦争、差別の点から記事を読んで整理する。	記事を読む前に、アフガニスタンの現状や女性差別の状況について写真などを用いて整理する。読むべきポイントをあらかじめ提示する。	

	6．学校に行けない要因の最後の事例として教育資源の不足の点から記事を読んで整理する。	マラウイの実際の学校の様子を挙げ、日本と比較しながら事例について読ませる。 読むべきポイントをあらかじめ提示する。	
まとめ10分	1．学校に行けない要因で一番衝撃を受けたものを理由とともに伝え合う。	記事に挙げられている５つの要因の中でそれぞれが自分ごととして衝撃を受けたものを選ばせる。	